

## 九州農業成長産業化連携協議会設立趣意書 (九州地域産業連携ネットワークの設立)

九州において、農業・農村では、恵まれた気候風土と農業者の創意工夫により、豊かで多種多様な農業生産が行われるとともに、魅力的な農山村も多く存在している。このような九州の農業・農村に国内外から熱い期待もあるなかで、農村現場では、就業者の高齢化、後継者難、低収益性などの問題が深刻であり、また海外への輸出も全体として僅かな取組にとどまっている。

このため、我が国の他産業における経験をも参考に、農業（注）の産業化、すなわち、我が国農業が収益を上げながら事業として持続可能な発展を遂げられるようにしていくことが必要であり、また、一次産業と二次、三次産業が手を携えて資源を有効に活用して新しい価値を生み出し、九州の地域経済を活性化し、その成果を分かち合うことが重要である。

また、農山漁村が有するポテンシャルを十分に引き出すために、多様な産業分野が有する様々な知見の共有と創発によりイノベーションを進める場として、平成23年12月に全国ベースで「産業連携ネットワーク」が設立され、同趣旨の産業連携ネットワークが今後各地域ブロックでも設立される動きとなっている。

こうした状況を踏まえ、九州農業の成長産業化に向けて、農業関係者と商工業関係者とが経営連携により経営力を強化し、販売・加工・輸出等の体質強化を図っていくことを目的として、新たに「九州農業成長産業化連携協議会」を創設するものである。

平成24年3月

(注) 当協議会では、農業を中心としつつ、林業・水産業も対象とする。